

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第92号

平成 29 年 7 月 14 日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：045-263-4470

今年も多くのボランティア、インターンシップ

最近「梅雨明け」という言葉を使わないようですが(気象庁)、真夏日・猛暑日となる日が珍しくない季節となってきました。いよいよ夏本番です。

さて、本協議会の会員の全面的な協力による「子ども科学探検隊」「中高生サイエンスキャリアプログラム」のアシスタントとして、今年も多くの高校生科学ボランティアや大学生インターンシップの皆さんが活躍してくれます。事業の際には子ども達とともに、お伺いすることになりますのでよろしくお願いいたします。



高校生科学ボランティア開講式

「高校生科学ボランティア」は青少年センター科学部による青少年人材育成事業の一つです。青少年センターの小・中学生講座や県内各地のイベントで、科学工作やロボットプログラムの支援・実験ショーのパフォーマンスや出展ブースのアシスタントなどを行ってまいながら、それぞれの成長につながることを目的としています。今年度は25人の登録があります。これとは別の「高校生インターンシップ」が5名います。

右の写真は5月28日(日)に行われた「高校生科学ボランティア」の開講式の様子です。科学部長による「青少年センター設立の意義」の講話(上の写真)の後、それぞれの高校生が自分の予定を確認しながらボランティアに参加できる日を選んでもらいました(下の写真)。中には3年間継続して参加している頼もしい生徒もいます。

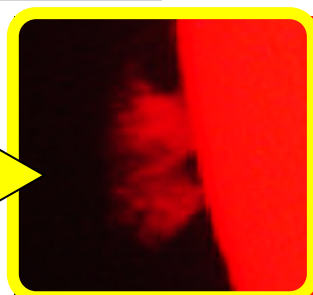
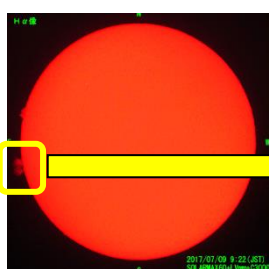


大学生等インターンシップ

大学生(大学院生を含む)のインターンシップは、県庁経由の38名をはじめとして合計39名を受入れます。7月19日(水)に県庁での一斉ガイダンスを経て、アシスタントとして高校生ボランティアと一緒に各事業に加わってまいります。さらに、教職員の社会体験研修(教員5年経験者研修)として7名の先生も受入れます。

子ども達と一緒に、科学に関する内容のすばらしさや発見のときめきを感じてもらいたいと思います。

One Point 科学の話題



左の写真は見ていだけで暑くなりそうですが、先日7月9日(日)AM9:22の太陽の写真です。青少年センターの屋上から撮影したものです(事務局撮影)。右側の写真は、その表面の一部を拡大したのですが、太陽表面から噴出している紅炎(プロミネンス)がはっきりと見えます。太陽の直径は地球の109倍ですので、なんとこのプロミネンスは、その中に地球がすっぽり入ってしまう大きさです。温度は約1万度です。猛暑日(35度超)など比ではありませんね。

これらの画像は、青少年センター科学部のホームページ「インターネット科学館」に掲載しています。

プチロボで競走しよう

「プチロボ」とは、4つのモーターを自動車のタイヤのように配置させて、手でコントロールしながら走らせるロボットです。小学生対象の、ハンダ付けも伴う本格的な工作です。午前中にプチロボを作成し、午後に指定されたコースを使ってタイムレースを行います。これまでに、横浜(会場: 青少年センター)、相模原、座間、藤沢で開催しました。県内のさまざまな地域で年間 12 回の開催を予定しています。



写真①



写真②



写真③



写真④

写真①: 多くの細かい部品を確認して、作成開始です。(5月13日(土)、横浜会場)

写真②: 安全のため防護めがねをかけてハンダ付けをします。(6月10日(土)、相模原会場)

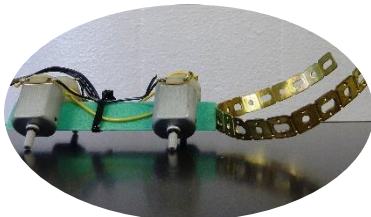
写真③: 「公式コース」を使って自作のプチロボを操縦し、ゴールまでのタイムを競います。(6月25日(土)、座間会場)

写真④: 2位までを表彰します。今年の最高記録は現在のところ 15 秒 18 です。(7月2日(土)、藤沢会場)

黒岩知事、科学部を視察

6月8日(木)に、黒岩知事が科学部を視察しました。

まず、科学体験室で科学部長から、本協議会に係る事業等をスライドで説明しました。説明の中にあつた科学体験支援事業である「プチロボ」の操縦に知事はチャレンジしましたが、練習コースを思うように走ってくれないロボットに悪戦苦闘でした。子ども達の技術に改めて感心です。



プチロボ完成品(全長約 17cm)



操縦中の知事



部長から知事に事業説明



左から2番目が黒岩知事

事務局から

宇宙桜、ピンチ!

青少年センター建物の道路沿いに高さ 5m くらいの「宇宙桜(うちゅうザクラ)」が植えてあります(右の写真)。この桜は、2000 年 2 月、スペースシャトル「エンデバー」に搭乗した毛利宇宙飛行士とともに宇宙を旅してきたエゾヤマザクラの種から育てられたもので、毛利氏の出身地、北海道余市町で育成、2005 年 10 月、当センターに寄贈されたものです。この由緒ある桜が最近、元気が無いのです。周りの桜の木は夏らしく、葉が勢いよく伸びているのに…。専門家に診てもう予定です。がんばれ、宇宙桜!



宇宙桜

高校生の科学研究実践活動への支援

神奈川県教育委員会に指定された理数教育推進校を中心に、理数科目に関連したテーマで課題研究を授業の一環として実施している高校が増えてきました。高校生や教員が、助言を求めてきた場合の連携先として本協議会も協力したいと思います。事務局が窓口となりますので、問合せがありましたらご指導をよろしくお願いいたします。



センター開館 55 周

(事務局 : 村上、高相、山田、宮城)